

へいせい ねんどだい きかわさきくくみんかいぎ
平成28年度第6期川崎区区民会議

だい かい す ぶかいてきろく
第2回だれもが住みたいまちをつくる部会摘録

にち じ へいせい ねん がつ にち ごご じ ぶん
日 時：平成28年7月19日（火）午後6時30分

ば しょ かわさきくやくしょ かいかい ぎしつ
場 所：川崎区役所7階会議室

しゅつせきしや けいしやうりやく
出席者（敬称略）

い いん めい
委員 10名

あらい と き こ えもりち え こ すやまよしこ たかはしよりこ ちねん じょ あん な
新井トキ子、江守千恵子、須山令子、高橋順子、知念ジョアンナ、
のうじやうしげのぶ ばくちゃんほ はらちよこ みねおてらす もりわきたくろう
能條重信、朴昌浩、原千代子、峯尾照、森脇卓郎

ぼうちやう にん
傍聴 0人

しんこう まちだきかくかちやう
(進行：町田企画課長)

かいかい
1 開会

- い いん しゅつけつ かくにん
委員の出欠の確認
- かいぎ こうかい かいぎろく かいじ かいぎ きろく こうほう しゃしんさつえいなど せつめい
会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、
ぼうちやうしや かくにん
傍聴者の確認
- はいふしりやう かくにん
配布資料の確認

ちいきほうかつけ あしすてむ
2 「地域包括ケアシステム」について

- かわさきくちいき しえんせんたー あけたたんどうぶちやう せつめい
川崎区地域みまもり支援センターの明田担当部長より説明。

もりわきい いま こうれい しょうがい たんどう ちいき しえん
森脇委員 今までは高齢・障害課が担当していたことは、地域みまもり支援
せんたーに移ったのでしょうか。それもと今までどおりでしょうか。

また、ちいき たい なに
地域に対して何をして欲しいのか、どういうことをしようとしている
のでしょうか。

あけたぶちやう ちいき にんちしやう わざら じよせい じよせい ちいき さき
明田部長 ある地域に認知症を患っている女性がいて、その女性を地域で支え
ていました。こんご ちいきほうかつしえんせんたー はい けんとう
今後、どうしていくか地域包括支援センターも入って検討しよう
としていましたが、じやうきやう わる みんせい いん そうだん ぶしよ
状況が悪くなったので民生委員から相談があり、3部署
かんふ あれんす ひら じれい
がカンファレンスを開いた事例があります。

ちいき しえんせんたー そうだん う と よこぐし
地域みまもり支援センターは、相談があったら受け止め、横串をさしながら
たいおウ こうれい しょうがい か こうれいしやたんどう いま ほけんし
対応しようとしています。高齢・障害課の高齢者担当には今まで保健師がいま

したが、それが地域みまもり支援センターに移ってきています。
児童虐待の窓口も児童家庭課から地域みまもり支援センターになっていま
す。児童相談所とも連携しながら課題解決に取り組んでいます。
地域の中に出て行く相談窓口と 考えていただければと思います。

原部会長 小学校や中学校とはどういう連携があるのでしょうか。

明田部長 児童虐待の事例があるとどこで相談を受けても、横で情報共有し
ながら関わっています。

原部会長 従来も学校に相談したら児童相談所に話はしていました。

明田部長 どこが窓口になってもそれぞれと連携しながら関わっていきましょ
うということになっています。

原部会長 小学生や中学生では学校と連携していかないといけない場合が多
いと思います。

明田部長 内容によっては、子どもだけでなく、家族全体の問題という場合もあ
ります。その場合に関わっていく組織が地域みまもり支援センターです。

新井（ト）委員 これまで学校のお子さんの問題とされる場合は、資料が出てき
ませんでした。今日、地域包括支援センターでの会合があり、子どもの問題は
保健師さんが把握しているようです。学校と地域みまもり支援センターの連携
はとれているのかなと思いました。

明田部長 100%やれているというわけではありませんが、連携が取れるように
心掛けていますし、100%となるようにしていきたいと思ひます。学校にはそ
れぞれ考え方があるので100%とはいかないこともありますが。

新井（ト）委員 資料が出ているというのは学校と連携がとれているからだと思
いました。今までは情報がなかったです。中学生が亡くなった時も全く
情報が出ていませんでした。今回は資料があったので、変わってきたと思ひ
ました。

あけたぶちよう ある みんせいいいん さんから きになる かてい があり、どうしたらいいかと そうだん
明田部長 を受けました。その際、すぐに ほうもん するのは むづか しいので、日頃の ひごろ 見守りからし
ていただければ ありがたい という お話し をさせていただきます。

あらい と いいん みんせいいいん おな ちいき なか せいかつ する もの ですから、 かか かた
新井(ト)委員 民生委員は 同じ 地域 の中で 生活 する もの ですから、 かか かた
難 しい 面 も あります。

ぼくいん さいがいじようえんごしや ちいき しえんせんたー かんけい
朴委員 災害時要援護者と 地域 みまもり 支援 センターの 関係 は どう な って い る
で し よ う か。

あけたぶちよう こんご さいがいじようえんごしや かいぎ で わたく
明田部長 今後、災害時要援護者の 会議 に 出 る こ と に な り ま し た。私 ど も の こ れ
から れんけい する よ う に な る と お も い ま す。

しんこう はらぶかいちよう
(進行：原部会長)

3 議題

(1) だい かいせんもんぶかい しんぎないよう かくにん くみんかいぎ と く かだい しぼ こ
第1回専門部会の 審議 内容 の 確認 と 区民 会議 で 取 り 組 み た い 課 題 の 絞 り 込 み
に つ い て

しりよう だい かいせんもんぶかい しんぎないよう かくにん くみんかいぎ と く かだい しぼ
資料1：「第1回専門部会の 審議 内容 の 確認 と 区民 会議 で 取 り 組 み た い 課 題 の 絞 り
込 み に つ い て」を 用 い て、 じむきょく せつめい おこな
事務局が 説明 を 行 っ た。

はらぶかいちよう しりよう ぶかい こうれいしゃ しょうがいしゃふくし こそだ
原部会長 資料1に あ り ま す よ う に、この 部 会 で は、「高 齢 者 ・ 障 害 者 福 祉」「子 育
て」「外 国 人 市 民 に 関 す る 事 業」を 取 り 上 げ ま す。こ こ で 上 げ ら れ て い る 全 部 を
や ろ う と す る と 2 年 間 で は 間 に 合 わ な く な っ て し ま う の で、9 月 の 部 会 ま で に
各 分 野 に つ い て 1 個 か 2 個 に 絞 っ て い く こ と に な っ て い ま す。

ほんじつ ぶんや ぎろん じかん じかん
本 日 は 3 つ の 分 野 に つ い て 議 論 す る と い う こ と で し た が、時 間 も 1 時 間 ぐ ら
い し か あ り ま せ ん し、前 段 の 話 を 踏 ま え な が ら「高 齢 者 ・ 障 害 者 福 祉」に つ
い て 議 論 し て は ど う か と お も い ま す。

だい き くみんかいぎ いいん かた だい き おこな こうれいしゃ
第5期 の 区 民 会 議 の 委 員 の 方 か ら は、第5期 で 行 わ れ た「高 齢 者 の み ま も
り 活 動」を 視 野 に い れ た 中 で 討 議 を 進 め て 欲 し い と い う 希 望 も あ り ま し た。

ちいきほうかつけあしすてむ くみんかいぎ かつどう
地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム と 区 民 会 議 を つ な げ て 活 動 す る こ と が で き る で し よ
う か。

あらい と いいん ひじょう むづか おも きょう ちいきほうかつけ あせんたー かいぎ
新井(ト)委員 非常に難しいと思います。今日も地域包括ケアセンターで会議
がありました。その中で感じましたが、地域の方に地域包括ケアシステムの
理解度がない状況です。広めることを早くしてもらわないと、肝心の人たち
の理解度がないと思います。

もりわきいいん ちいきほうかつけ あしすてむ ちいき みまも
森脇委員 地域包括ケアシステムにこだわらず、地域においてそれぞれが見守り
をし、仲間を増やしていけばいいのではないのでしょうか。話を聞いていても
ピンと来ないという感じでした。地域みまもり支援センターは問題が出た時の
受皿だと思っています。

はらぶかいちよう ぶかい なに
原部会長 この部会では、何をやっていけばいいのでしょうか。

もりわきいいん きよねん ちょうさ ふ たと れんごうちょうないかい かいぎ とき よ
森脇委員 去年の調査を踏まえて、例えば、連合町内会の会議があった時に、呼
び掛けをしていけばいいのではないのでしょうか。きっかけをつくっていく、訴
え掛けをしていく。

ちねんいいん しぼ
知念委員 絞っていくとはどういうことでしょうか。

はらぶかいちよう こうれいしや しょうがいしやふくし なか
原部会長 「高齢者・障害者福祉」で4つあがっていますが、その中から1～2
つに絞っていくということで、みなさんのご意見を聞いています。
森脇委員からは、「第5期区民会議での提案を活かした取組」をやってはどう
かという提案でした。第5期では4団体にヒアリングしてパンフレットを作り
ました。

もりわきいいん くやくしょ さっし くぼ
森脇委員 区役所で冊子をどういうところに配っているかわからないですが、
区民会議としてアピールしていったらどうかと思います。

あらい と いいん きょう こうかんどお かつどう はなし
新井(ト)委員 今日鋼管通りの活動は素晴らしいという話をしていました。
それをみなさんがどういうふうに展開していくかだと思います。

はらぶかいちよう きよねん ひ つづ いけん ぜんかい
原部会長 去年のことを引き続きやって欲しいという意見もありました。前回は
見守り活動を調査するということが課題でした。みなさんから具体的な
イメージを出していただければと思います。

高橋委員 池上新町に住んでいます。「見守り・つながりの輪」という活動をやっています。平成24年に県のモデル事業として始めて、5年やっています。

一昨年は区でもモデル事業として発表しましたが、去年はありませんでした。一昨年の事業はなくなって、また新しい事業が出てくるのが気になります。

「見守り・つながりの輪」は、今も活動をしています。課題としては昨年から立ち上げたお手伝い事業に申し込みがないことです。

4つの中では「ひとり暮らし高齢者の会話の場の創出」ができればいいと思います。

区民会議でどの程度のことができるか、まだ、見えてないです。

峯尾委員 5期は見守り活動についてやっているの、それを深めていくといいのではないのでしょうか。

地域包括ケアシステムはよくわかりません。実例が出てきているという話がありましたが、地域包括ケアセンターでもやっているし、高齢・障害課でもやっていると思います。新たに地域包括ケアシステムと言われても、どうかと思います。

須山委員 地域包括ケアシステムについては、説明してもらってもはっきりつかめませんでした。

区民会議では、もっと絞ってそれに打ち込んでいった方がいいと思います。

江守委員 地域包括ケアシステムは、今日の話聞いて、これまでは個々にやっていたことを包括的に横のつながりを取りながらやっていくということだと思いました。私たちは、一人ひとりができることをやっていくのかと思いました。

地域で見守り活動を行っているグループの話伺ったという話を先ほど聞きましたが、それがどの程度広がったのか、なぜ広がっていないのかという印象です。いい例をもっと広めるために、何ができるかを検討することが必要だと思います。

新井(ト)委員 鋼管通2丁目の活動は、区民会議でも調査をして新しく知ったことです。

えもりいん わたし なんねん まえ き
江守委員 私は何年も前に聞きました。

すやまいん となり だれ す じだい む さんけん
須山委員 隣に誰が住んでいるかわからない時代になっています。向こう三軒
両隣でお茶を飲めるような関係になればいいと思います。

ぼくいん みんせいいん い おーとろっく はい ことわ
朴委員 民生委員さんが行ってもオートロックで入ることを断られてしまう、
人が信用できない状況になっています。

あらい と いいん ちいき け あ
新井(ト)委員 地域ぐるみでケアしているところがわかったということでした。

はらぶかいちよう だい き だんたい ちょうさ だんたい はなし き い
原部会長 第5期では、148団体に調査をして、4つの団体に話を聞きに行きま
した。行政側はどの取組がいいというのは言えないので、区民会議として4
つの団体を知らせていくというのが第5期でした。

ひとり暮らしの見守り活動の充実のために、どうしていけばいいかという
ことまで話ができませんでした。

ひとり暮らしの見守り活動の充実のためには、どうすればいいかというこ
との討議を深めてはどうかと思います。

次回には、色刷りのパンフレットを行政から資料として出してもらって、
森脇委員から説明してもらって、どうやって充実させるかと検討してはどう
でしょうか。

ちねんいん ばんふれつと もんだい ちが れい だ おも けいぞく ほうほう
知念委員 パンフレットは問題が違う例を4つ出したと思います。継続の方法が
あればいいと思います。「ひとり暮らし高齢者の会話の場の創出」は同じこと
になりますか。

もりわきいん さくねん れいじ とくちょうてき しょうかい
森脇委員 昨年は例示として特徴的なところを紹介しました。その
パンフレットを配っているかわからないですが、町内会や民生委員や老人会
の会合でアピールしてはどうかと思います。

その時に、「見守りだけでなく、ひとり暮らし高齢者の会話の場の創出も
必要だよね」という話になれば、そうすればいいと思います。

えもりいん みまも ほうほう かた おも れいじ だ
江守委員 見守りの方法はいろいろなやり方があると思うので、その例示を出し
ていけばいいと思います。

能條委員 私は3つめの「地域活動の担い手としてのシニア世代参加・活動促進」がいいと思います。自分はリタイアしたサラリーマンですが、地域で活動しているのは自営業等の方で、リタイアしたサラリーマンが参加しにくいという番組をみました。なので、元サラリーマンが地域で活動することを促進する方法を検討してはどうでしょうか。

原部会長 ひとり暮らし高齢者の会話の場の創出ということでも、担い手として誰がやるかということがあるかと思います。そういう面からも検討していつてはどうでしょうか。

原部会長 次に「子育て」ですが、1番めの「子育て支援団体の情報交換会の開催」は既にやっています、2番めの「世代間交流の促進」はカローリングをとり上げていました。
A部会からの提案である「青少年問題」というのはどういう内容でしょうか。

事務局 防犯的な意味合いでの青少年問題です。

原部会長 7つの項目については、前回までの議論を踏まえて事務局でまとめたものだと思います。その中で、どれを取り上げたらいいか、ご意見を下さい。

能條委員 「子どものまちづくりと犯罪対策」に興味を持ちました。区民アンケートでは85%が「住みたい」と言っていますが、残りは「治安が問題だ」という回答でした。ですので、犯罪について取り上げるとアンケートとつながるとおもいます。

原部会長 内容としてはよくわかりますが、区民会議でどういう角度で検討するかが難しいとおもいます。

能條委員 警察が出てくるところまでいくと取り返しがつかないですが、「家庭教育への取組」ということであれば取り上げられるのではないのでしょうか。上村くんの件では、夜に外出を許した家庭のことが気になりました。家庭のことをどうするか、というのは難しいとは思いますが。

新井（ト）委員 問題を抱えている家庭こそ話し合いの場に出てきて欲しいけれど出てこない、ということが問題だと言われています。どういう形で更生させるか、親御さんにわかってもらうかは非常に難しいと思います。

高橋委員 「子育てに悩む親の孤立化防止」は今までにやったことがありますか？

「子どものまちづくりと犯罪対策」にある子どもサミットの開催や「子育て支援団体の情報交換会」については、やっていたとしても継続が大事だと思います。講師の話よりは情報交換が大事だと思います。

原部会長 子育て支援団体の情報交換会の開催は大師地区でしか開かれていません。

森脇委員 子育て支援団体の情報交換会の開催は、大師地区ではやったんですが、事務局をどこがやるかということになり、止まっている状況です。

田島地区は子育て団体が集まってお祭りをやっているのので、情報交換会が必要でないということになりました。中央地区は手付かずの状況です。

2番目の「世代間交流の促進」は、第4期の時に中学生と高齢者の交流ということで準備をしたんですが、中学生の参加がありませんでした。難しかったということでは止まっています。

原部会長 子育て支援団体の情報交換会の継続を課題として検討していくことはあると思います。もう一つは「家庭教育への取組」ということではいかがでしょうか。

3番目の外国人市民に関する事業は重要だと思いますので、次回に議論したいと思います。

(2) 審議スケジュールについて

審議スケジュールについて、「資料2：審議スケジュールについて」を用いて、事務局が説明を行った。

審議スケジュールについては、特に意見はなかった。

4 その他

- ・ 事務連絡

やまぐちふくくちょう
(山口副区長)

長時間にわたりありがとうございました。はじめに地域包括ケアシステムの話があったので、3番目まではいかなかったと思いますが、外国人市民に関する事業についても次回までにだいたい見えてくるのかなと思っております。

次回、9月6日ですが、次回には方向性、審議課題を決めていただければと思います。ありがとうございました。

へいかいせんげん
■閉会宣言

ごご じ ふんへいかい
午後8時30分閉会

いじょう
(以上)